

2024 11

名手たちが描く、神宿る山々

現代日本画の名峰

月刊美術

No.590

Since 1975



夢豹 川又聡

玉井伸弥 日本画展 —イキモノガタリ—

11月6日～11日 ●日本橋三越本店 本館6階 美術特選画廊 ☎03(3241)3311

1994年広島県生まれ。2018年愛知県立芸術大学大学院修了。現在、同大学非常勤講師、日本美術院院友。日本や西洋の神話や昔話に登場する動物や神獣など、“モノガタリ”に因んだ“イキモノ”たちの作品を中心に発表。フランスや中国、台湾で取材したモチーフも加え、新境地を見せる。

玉井伸弥 GRIFFON 日本画



北澤龍 日本画展

10月23日～29日 ●浦和伊勢丹 6階 美術サロン ☎048(834)1111

1987年東京都生まれ。2015年東京藝術大学大学院日本画領域修了。現在、院展院友。今年3月のアートフェア東京で強烈な存在感を示し、注目を浴びる精鋭の個展。最新作を披露する。

北澤龍 怒龍図 日本画



木村佳代子「VIS VIVA FLORA」展

11月9日～12月8日 ●銀座・ギャラリーためなが ☎03(3573)5368

1971年東京都生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科博士課程満期退学。「時間」「命」「宇宙」といった概念を美しい花の形にこめて描く木村佳代子の同画廊での初個展。生命の強さと美しさを表現した新作約40点を展観する。

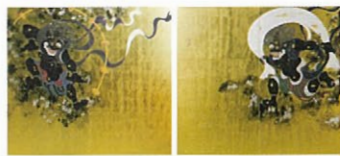


木村佳代子 Cuddling 2024-02 油彩

西嶋豊彦 日本画展

11月7日～13日 ●京王百貨店新宿店6階 京王ギャラリー ☎03(5321)5300

「和の神髄」をテーマに国内外へ発信を続ける日本画家。「風神雷神」に、半導体を掛け合わせた近未来的作品を中心に、富士山、松、梅、桜など日本古来のモチーフとする作品世界を。



西嶋豊彦 半導体風神雷神図

—ちいさなひと— 津絵太陽展

11月13日～18日 ●日本橋高島屋S.C. 本館6階 美術画廊 ☎03(3211)4111

1996年宮崎県生まれ。東京藝術大学大学院博士後期課程に在籍。2018年第94回白日会展白日賞を受賞、現在白日会会員。旧満州をテーマの一つとして制作を続けるが、今展では、フィールドワークを敢行した内モンゴルの風景を題材にした作品を中心に展示する。

津絵太陽 No.286 油彩



つし 切り絵作品展 ものかけ

10月23日～11月4日 ●倉敷天満屋 4階 アートサロン ☎086(426)2145

2019年瀬戸内市立美術館で開催された特別展「—驚愕—超絶世界展」での展示で話題になった新進気鋭の切り絵作家・辻。動植物の美しさを細かな線で表した「動植切絵」を展開。額装にも力を入れ、モチーフと影の形を最大限に生かした独自の表現を追求する。倉敷天満屋初個展。

辻 ものかけ 紙



原澤亨輔展 光の旅人

11月11日～17日 ●半蔵門・九段羅画廊 ☎03(5357)1960

1997年東京都生まれ。東京藝術大学大学院博士課程在学中。2023年〈デビュー 2023〉準グランプリ、24年有芽の会法務大臣賞受賞。雨に濡れる街と横断歩道など、人々が行き交う夜の街の風景を幻想的に表現。作品14点を展示予定。

原澤亨輔 光の旅人 岩絵具、水干、墨、和紙



上原利丸 個展

10月31日～11月7日 ●銀座・創英ギャラリー ☎03(6274)6698

東京藝術大学教授として本友禪染を長年教え、退官後は制作と発表を続ける。時代に流されない、類型のない独自性のある平面作品としての染色を追求。小品から120センチの大作など多数展示する。

上原利丸 新生・春 染色

